

令和4年4月7日（木）

## 1 学期始業式講話

皆さん、おはようございます。3月の終業式でお願いしたとおり、みなさんが安全無事に春休みを過ごし、元気に登校してくれたことを大変うれしく思います。今日は大切な話を3つしますので、しっかり聴いて下さい。

まずは新型コロナウイルス感染症です。陽性者の高止まりが続いており、今後もさらなる感染者数の増加が懸念されています。県立高校での感染者数も春休みに入って急激に増加し、臨時休業となる学校が相次ぎました。本校ではみなさんの自覚ある行動によって、臨時休業とはなりませんでしたが、今後も注意が必要です。特に部活動に熱心に取り組んでいるみなさんには引き続き協力をお願いします。部室や更衣室での密を避け、活動前後や休憩中はマスクの着用や手ありの徹底、普段と体調が少しでも異なる場合や、同居家族に同様の症状が見られるまたは検査の予定がある場合は参加しないようにしてください。

3年生にとっては最後の春の地区大会や県総体、そして東光祭を迎えることとなります。3年間の集大成としての、活躍の場が無くなることがあってはなりません。部活をやっている人も、やっていない人も感染症拡大防止の協力をお願いします。

2つめに、成年年齢引き下げについてです。令和4年4月1日、「民法の一部を改正する法律」の施行に伴い、成年年齢が18歳に引き下げられ、みなさんは順次、18歳の誕生日を迎えた時点で民法の成年年齢に達することになりました。親の同意を得なくても、スマホの購入やクレジットカードの作成など様々な契約ができるようになります。逆にいうと、社会経験の乏しい若者を狙った違法な契約を持ちかける悪質な業者が必ず出てきます。さらに今までは、未成年者が親権者（保護者）の同意を得ないで結んだ契約は取り消すことができましたが、（未成年者取消権）これが使えなくなります。十分注意してください。このことについては啓発ポスターを掲示しますので良く確認してほしいと思います。

3つめとして、今年度から観点別学習状況評価を取り入れます。定期考査期間は従来通り設けませんが、みなさんに対して評価規準（ルーブリック）を事前に提示し、多様な方法で評価することによって何ができるようになったか、改善すべきことは何か、をみなさんにフィードバックしていきます。ペーパーテストの点数だけでみなさんの成績が決まるのではないことを十分に理解してください。みなさんのよい点や進歩の状況を積極的に評価し、生徒一人一人が自分の

良さや可能性を認識できるような評価をしていきます。詳しくは年度初めのLHRで担任の先生から詳しい説明があります。

さて、本日の午後、みなさんの後輩が入学式に臨みます。緊張しながらも高校生活への期待感を持っていることでしょう。みなさんも進級とクラス替え、また、春の訪れによって、何かしら新しいことが始まる期待感を持っているのではないのでしょうか。この時期に、今年目標を定め、それ実現させる計画を立ててほしいと思います。

最後に2つ、皆さんにお願いします。一つは、**あなたの命はあなただけのものではありません。**コロナウィルスから身を守ることを含め、自分の命、周りの人の命を尊重してほしいともいます。二つめは「人生は思い通りに行かないこともある」ことを受け止めてほしいということです。「辛い気持ちやイライラする気持ち」を、一旦脇に置いて、悩んでいる自分自身を客観的に見つめて下さい。そうすれば、違う見方や考え方、あるいは人に相談する余裕が生まれるかもしれません。

それでは心身の健康と安全に気を配り、高い志を持って、新学期のスタートが切れることを願って、始業式の話とします。